

卒業	到達目標(DP)	(1)温かいところと豊かな感性を備え、人への深い関心を持ち、個人の尊厳を守り、信頼関係を築くことができる。	(2)介護を必要とする人の自立支援とその人らしい生活を支えることのできる専門的知識と技術を修得している。	(3)根拠に基づいた介護過程の展開ができ、質の高い利用者本位のサービスを考えることができる。	(4)常に問題意識を持ち、介護実践の質的な向上や介護をめぐる課題について探求し、より良い介護を追求できている。	(5)介護実習や地域交流等で、多職種との連携・協働や地域に貢献する必要性を理解できている。	
	2年次履修	後期	△介護特別講座Ⅱ ○いのちと健康 ◎人間の尊厳と自立 △発達心理学	○医療的ケアを必要とする生活支援Ⅲ・Ⅳ ○終末期の介護 ◎障害の理解Ⅱ	□介護過程展開論Ⅲ ◎居宅サービス展開論	□介護総合演習Ⅳ ◇介護の基本Ⅳ	◎介護の基本Ⅲ
		前期	介護総合実習 △介護特別講座Ⅱ □アクティビティ・サービス論 ◇死にゆく人の理解	○障害の理解Ⅰ □手話 ◇介護の基本Ⅱ △コミュニケーションと介護Ⅱ	□生活リハビリテーション □介護過程展開論Ⅱ	○医療的ケアを必要とする生活支援Ⅰ・Ⅱ □介護総合演習Ⅲ □◇総合的生活支援Ⅱ ◎社会保障論Ⅱ	□福祉住環境論
	1年次履修	後期	個別援助技術実習 介護基礎実習 △感性を高める表現	○発達と老化の理解Ⅰ・Ⅱ ○□ころとからだのしくみⅡ □生活支援技術の基本Ⅱ △介護特別講座Ⅰ △情報処理実習	□◇総合的生活支援Ⅰ □介護総合演習Ⅱ □介護過程展開論Ⅰ	□認知症援助論 ◇介護福祉論Ⅱ ◇介護の基本Ⅰ ◎社会保障論Ⅰ	◇生活交流演習
前期		介護導入実習Ⅰ・Ⅱ ○ころのしくみ □ストレスと癒し △対人コミュニケーション論	○認知症総論 ○人体の構造と機能及び疾病 ○□ころとからだのしくみⅠ・Ⅲ □生活支援技術の基本Ⅰ・Ⅲ ◇家政の生活支援Ⅰ ◇家政の生活支援Ⅱ △コミュニケーションと介護Ⅰ	□介護総合演習Ⅰ ◇介護過程総論 ◇生活支援技術総論	◇介護福祉論Ⅰ ◎現代社会と福祉	◇地域ボランティア演習 ◇生活交流演習	
入学		○ひとの命と健康を考える □ひとの可能性を考える ◇ひとの生活を考える ◎ひとの権利を考える △学修の基礎力を培う					
入学生の受け入れ方針(AP)	・介護福祉や社会福祉に関心をもち学ぶ意欲をもっている ・人の話をよく聴き、自分の考えを伝えることができる ・入学後の学修に必要な基礎学力がある ・人の立場になって考えることができる ・人と共に協力して活動に取り組むことができる						

図3 カリキュラムマップⅠ